

# 対比について

## ―表現面と内容面からのアプローチ―

駿台予備学校講師 橋立 誉史

次の文は、二〇一七年度大学入学共通テスト  
試行調査・第2問・問2の正解選択肢です。

パッケージ型の路地とは、区画整理された路  
地が反復的に拡張された路地のことであり、  
参道型の路地とは、通り抜けできない目的到  
着点をもち、折れ曲がって持続的に広がる、  
城下町にあるような路地を指す。

この問いでは「パッケージ型」と「参道型」の  
路地という二つの説明が問われています。大学  
入試現代文の論理的・実用的な文章では、この  
ような対比を用いた設問の出題が予想されます。

### 一、表現面からのアプローチ

二つのものの「違い」は、「XはAであるの  
に對し、YはBである」という構文を用いば  
スムーズに説明できます。これを「対比構文」  
と呼びます。記述式では、対比構文を解答のス  
タイトルと決めてから、「X」「A」「Y」「B」の  
四つの項に解答要素を盛り込んで答案を作成し  
ます。先述の選択肢はこの構文を用いているの

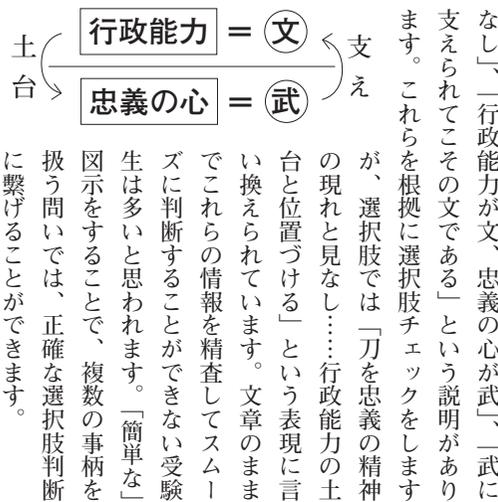
で、対比構文型という「選択肢のカタチ」を意  
識して選ぶように指導します。そうすれば、選  
択肢でも、〈書くように選ぶ〉ことができます。

### 二、内容面からのアプローチ

文章に書かれている内容を整理して理解する  
ことが不得手な受験生は少なくありません。考  
えられる原因として、「文章のままで理解しよ  
うとする」ことが挙げられます。先述の問いでは、  
本文の第六段落「パッケージ型」と「参道型」  
について、それぞれの内容を踏まえる必要があ  
ります。そこで、説明のグルーピング（グルー  
プ分け）をした簡単なメモ書きや図示をさせま  
す。試験では時間をかけすぎることではできま  
せんから、「簡単な」という点がポイントです。

### 三、実際の指導の現場で

実質的に対比内容の整理が問われた例に、二  
〇一四年度センター本試験・第1問・問4を挙  
げます。「文」と「武」の対比について、「武を  
文に對立するものとしてでなく、忠の現れと見



また、「XとY」の対比から読み取れるパタ  
ーンは二つあります。〈XとYの比重が同じ程  
度〉のもの、〈XとYのどちらかに比重が置か  
れる〉ものです。前者ではXとYには相違があ  
るということを示しますが、後者では重きが置  
かれる一方が話題の中心であると判断できます。  
対比の「簡単な」図示によって整理がしやすく  
なり、本文理解を深めることができるでしょう。